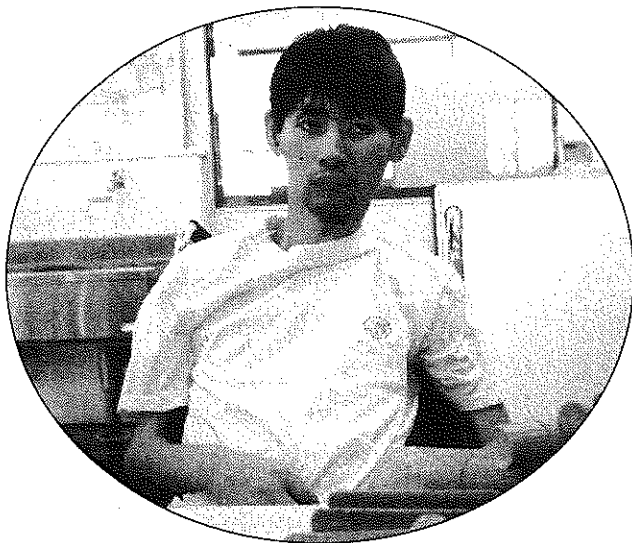




# 働こう障害者も 働けるんだオレたちも こぶしだより

企画：社会福祉法人 こぶしの会  
発行責任者：藤田勝春  
編集責任者：田澤幸子  
発行所：障害者団体定期刊行物協会  
(〒157-0073)  
東京都世田谷区砧6-26-21  
定価 100円



中指で作った  
季せの クローバー



### もくじ

- ①特集 社会福祉法人こぶしの会長期計画(第2次) 策定委員会が発足…………… 2・3ページ
- ②仲 間…………… 4・5ページ
- ③保護者・こよみ…………… 6ページ
- ④トピックス…………… 7ページ
- ⑤掲示板…………… 8ページ

けやき作業所 宮田 修一

社会福祉法人  
こぶしの会

- 法人事務局  
こぶし作業所 ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401  
TEL 028(662)1911 FAX 028(662)1912
- けやき作業所 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244  
●デイサービスセンター TEL 028(687)1040 FAX 028(677)5789
- 第2けやき作業所 ☎321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532  
TEL 028(677)0495 FAX 028(687)4818
- グループホーム  
こぶしのときわ荘 ☎321-0954 栃木県宇都宮市元今泉6-14-20  
TEL 028(662)5533
- グループホーム  
すずらんの家 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2305-2  
TEL 028(677)4430

# 特集

## 社会福祉法人こぶしの会長長期計画 (第二次)策定委員会が発足

### ワクワク・ドキドキの第1回委員会

去る8月5日、コンセーレ（宇都宮市）において、本法人の第2次長期計画を策定するための第1回委員会が、利用者、家族、後援会員、職員も参加しての公開委員会として開催され、今後の進め方についての活発な論議と、策定にあたっての4つの問題提起をいただきました。

た。

しかし、我が国の障害者福祉・労働施策は、この数年激しく変化しており、成人期障害者の地域生活支援を本格的に進めるためには、より基本的で具体的な、強固な計画をもつことが必要とされてきています。そこで、計画後半期五年間の見直しと併せて新たな視点からの計画策定に取り組むことになりました。

#### 石橋俊一委員長、池本喜代正副委員長を選出

第1回委員会では、①策定委員会設置要綱(案)の検討、②委員長・副委員長の選出、③今後の進め方が協議されましたが、委員長には石橋俊一委員（社会福祉法人パステル理事長）、副委員長には池本喜代正委員（宇都宮大学教授）にご就任いただきました。また、今後の進め方としては、こぶし・けやき両作業所をはじめとした諸事業の現状把握から行うこととし、利用者、家族、職員等からのアンケート調査や聴き取り調査を行うことが決定されました。

続いて、計画策定に取り組む基本的視点の問題提起がありました。

所メンバー直井信也さん・諸橋優子さん

お二人は、けやき作業所関係のメンバー三九名のアンケート結果をもとに報告され、①仕事、②生活、③休日、④自治会活動、⑤職員、の各項目についての回答のなかから、給料が低い、給料の支払方がわからない、移動手段がなくて行きたいところに行けない、結婚したい、休日にはほとんど家にいる、一緒に遊んだりする友人がいない、自治会ではもつと給料のことを話してほしい、職員は大きな声で注意しないほしいなどの、メンバーの率直な声を伝えました。この報告には出席者から強い関心が寄せられました。

#### 問題提起その二「国際障害分類第二版にみる障害の概念」 (報告者・石橋俊一委員)

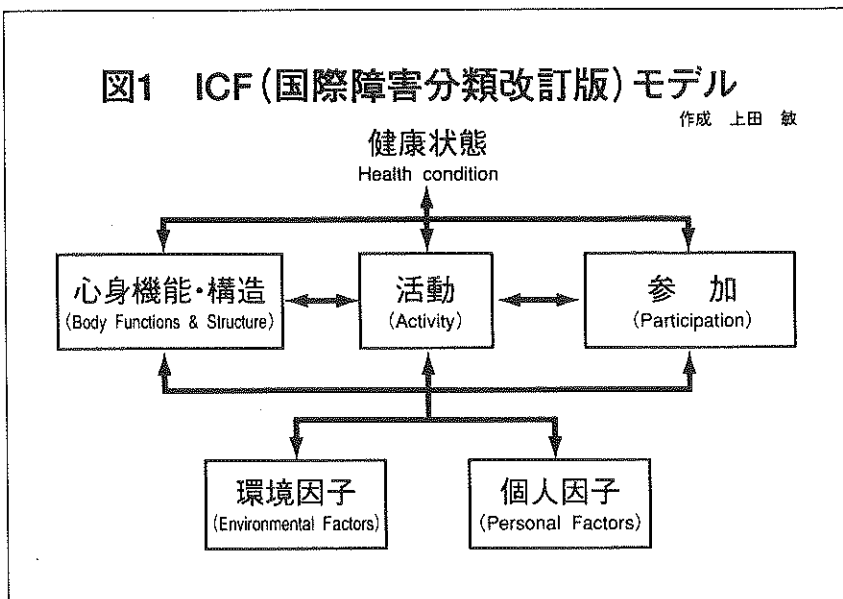
今回発表されたものは、WHO（世界保健機構）の正式最終決定ではありませんが、新たに示された考え方の特徴として、障害をマイナスのみに注目していた点を変更して、プラスあるいは、中立的な用語を用いることとしたこと、そのため、心身機能・構造、活動参加の、三つの次元でとらえることなどが報告されました。(図一)

本法人の長期計画は、すでに一九九五年度を初年度とする十年間の長期計画が策定されており、この間厳しい財政状況下でありながら、けやき作業所、グループホームの開設などの計画実現に取り組んでまい

問題提起その一「利用者の立場からの『はたらくこと、くらすこと』」(報告者・けやき作業

図1 ICF (国際障害分類改訂版) モデル

作成 上田 敏



問題提起その三「社会福祉法人・社会福祉施設をひらく」  
 (報告者・葭田美知子委員)

葭田委員は、特定非営利法人メイアイヘルプユアの事務局長さんですが、現在第三者評価の活動に取り組んでおられます。その活動から第三者評価の必要性、評価の視点について報告されました。施設における評価基準としては、①利用者は、施設運営に関して意見

が出しやすいか、②利用者は、困ったことや自分の希望を訴えやすいか、③支援内容のすべてにわたって職員の状態や雰囲気は、相談しやすいか、をあげられました。

問題提起その四「これからの社会福祉・障害福祉構想」  
 (報告者・大友崇義委員)

最初に、これからの社会福祉をどのように展望すべきかを、(1)社会福祉問題の拡大の背景、(2)社会福祉は今、何を求められているのか、(3)新たな社会福祉の枠組みの形成、の三点から話されました。さらに、これからの障害福祉構想として、(1)障害福祉の法的枠組みの変換、(2)こぶしの会に期待するものについて述べられました。

これからの社会福祉は、欠けているものを充足するという考えから、人間の幸せとは何かを問い続け、その課題への実践を積み上げることが求められていること、そして、こぶしの会は、①ニーズへのトータルな対応(働きがいのある豊かな労働、幸せを追求する日常生活へのトータルな生活支援、個別・家族・地域支援)、②ひらかれた社

策定委員名簿

(敬称略)

お名前	役職名
池本喜代正	宇都宮大学教育学部教授
石橋 俊一	社会福祉法人パステル理事長
大友 崇義	栃木県ソーシャルワーカー協会副会長
小関 忍	ライオンズクラブ国際協会333-B地区キャビネット幹事
加藤 佳子	栃木県知的障害者育成会宇都宮支部長
高橋 昭英	こぶし作業所保護者会顧問
橋本 道子	社会福祉法人こぶしの会理事
平石 利夫	社会福祉法人こぶしの会理事(民生委員)
古市 照人	独協医科大学付属病院リハビリテーション科教授
船田 福哉	栃木県社会福祉協議会地域福祉課長
増山 明美	地域生活支援センター・さの 施設長
吉田 裕重	平石地区社会福祉協議会会長
葭田美知子	特定非営利法人メイアイヘルプユア事務局長

会福祉法人経営、の必要性を提起されました。この後、これらの四人の方々からの問題提起を受けて、質疑応答、感想等が述べられました。今回の委員会は、こぶしの会の関係者も参加しての公開委員会の形をとったことから、策定委員以外の方々からも、利用者、家族、職員、後援会・ボランティアなどが参加しての計画づくりになることへの期待や、「現実はどうも厳しい状況のなかで、何か新しいことをつくっていくるようでワクワクしてきた」、「元気が出てきて、がんばってみる気持ちになった」などの発言があり、今後の委員会活動の重要性を実感させられて第一回委員会を終了しました。

よろしくお願  
いいたします。

八月からこぶし作業所に新しい仲間が入りました。キッチンセルプで働いています。

石川 幸子

今まで、普通の会社のスーパーや工場や倉庫などで働いていました。

今年四月に東京から宇都宮へ引っ越してきてからアピタ宇都宮店で二ヶ月働いてスーパーをやめて福祉プラザのキッチンセルプで働くことになりました、石川幸子です。

好きな仕事は、ありませんが逆に苦手なことばかりなのでとにかく今は、一生懸命やるしかないだけです。今まで普通企業でいつも忙しい思いをしてきたため、一つの仕事が終わるとつぎの仕事がないって言うのが多くてなんか半分遊んでる感じです。

もう、お盆と年末は、ぜったい四日以上休まず営業でキッチンセルプで働いていきたいと思えます。

私の思う仕事とは、嫌いなのが仕事！何もやりたくない。途中休憩なし！それが仕事……仕事とは、そういうものだ！

歌って！

踊って！

食べて！

こぶし作業所の横山幸生さんが、第二〇回こぶしまつり（九月九日に開催）の感想を寄せてくれました。以下は、聞き取りによる横山さんの感想です。

横山 幸生

僕がこぶしまつりで一番楽しかったことは、JB4のステージです。知っている歌を弾いてくれたし、ステージの前でみんなで踊ったことが楽しかったです。もつといっぱい一緒に踊ったりしたかったです。そして、そのJB4の人からピックをもらったのでとても嬉しかったです。その次に仲間のステージをしました。みんな見てくれたし、うまく歌えたのでとても良かったと思います。

それから、いろんなお客さんが来ていたけど、僕が富屋養護学校に行ってたときの小学部の時の担任の先生が来ていて、会えたのがとても嬉しかったです。前はボサボサ頭だったけど、短くきれいにしているかつこよかったです。とてもきれいな奥さんと

恒例の仲間のステージ。  
地域のお客さんががんばりをPRしています。



一緒に来ていました。僕もきれいな奥さんが欲しいなあと思いました。他にも学校の先生が来ていて、知ってる先生もいました。僕の知ってる人がもつとたくさん来てくれたらいいのになあと思います。そして、いろいろな模擬店がでていて、ダイドーさんのジュースがあったのが一番良かったです。くじを引いたけど、はずれだったのは悔しかったです。お昼はキッチンセルプのカレーを食べました。フラックフルトも食べました。ドーナツも三個ぐらい食べました。ちょっと食べ過ぎかなあと思いました。でも、ビールが飲めなかったのが残念でした。

② 仲間

おいしいおかずを  
つくりたい！

けやき作業所の利用者二人が、八月二  
 ○日より芳賀町の「友遊はが」の惣菜店  
 に実習へ出かけています。早く仕事を覚  
 えようと積極的です。

現場実習にいった

湯沢敦子

今、私は、ゆうゆう芳賀でげんばじっしゅうに行っ  
 ています。ですが、すごくやさしい人たちです。

いろんな仕事をやらせてくれます。

最初は、うどん屋にとめたかったんだけど、でも、  
 ゆうゆう芳賀でよかったなって思いました。

コロッケのしたくをしたりしていますが、じゃがい  
 もをむいたりしています。

諸橋優子

さいしょは、やるのが全部初めてなので実習してい  
 るとはいえずごく不安もあったけど、日がたつにつれ



湯沢さん(左)と諸橋さん(右)  
 「おいしかった」の声が自信になっています。

少しなれてきた。  
 私は、お店の方にてるんですけど、毎日ちがうし  
 ゆるいがでているのでどういう味なのかわからない  
 お客さんがいるので、あじみをしてみてお客さんに一  
 品一品説明できるように作るのを作っていくたい。この  
 次に来たときも「おいしかったから又かいてきた」と  
 言ってくれる様なものをつくっていきたい。これから  
 もがんばっていききたいと思います。

10月こぶし作業所暦

- 10月 1日 バザー集中回収日 ●
- 10月 7日 こぶしチャリティーバザー
- 10月20日 職員会議 ●
- 10月21日 第22回宇都宮市知的障害  
者等スポーツ大会 ●
- 10月24～26日 自立生活体験 ●

10月けやき作業所暦

- 10月 7日 けやきまつり ●
- 10月 9日 振替休日 ●
- 10月13日 支援会議 ●
- 市貝町社会福祉協議会  
30周年記念式典パン販売  
芳賀町ふれあいの  
夜祭り出店 ●
- 10月20日 職員会議 ●

# おむすび

今回は、第二けやき作業所の加藤さんご本人の登場です。

加藤 一位

（保護者リレートーク）

私は、この作業所に来て約一年が経ちました。ふり返れば色々な事が有りました。急に落ちこんだりもしました。そんな時はスタッフの手をかり、ようやく最近では体の面では体調もよくなりました。以前は私は、こもりがちな生活でした。そんな中に有って酒好きもわざわざいたのか、酒ばかり飲んでいて頃も有りました。人との付き合いもうまくいかずやんでいた時の事でした。ケースワーカーからのすすめと医師のすすめも有り作業所への入所となりました。今いちばんつらい事は仕事に慣れない事です。どんな遠くに行くのも自転車なので生活はんいがせまくなりました。みんなが車にのっているのになぜ私だけが車にのれないのかふしぎでした。医師に相談した所内容はきくことができませんでした。それはなぜか、今ふりかえるとアルコールによる事かもしれないのでは。どうしようもなくある時は自殺まで考えましたが生きている事のすばらしさも感じられるので思いとどまる事になりました。どんな体でも生きているという事は大変すばらしいなど最近思う様になってきました。これからもあせる事なくゆつくりとのんびりと生きていこうと決めました。どんなにつらくともどんな事が有ってもくじけずに回りの人々にさええられながら生きて行きたいと思えます。

## お知らせ

### セルフ・みらい

### 「二コース

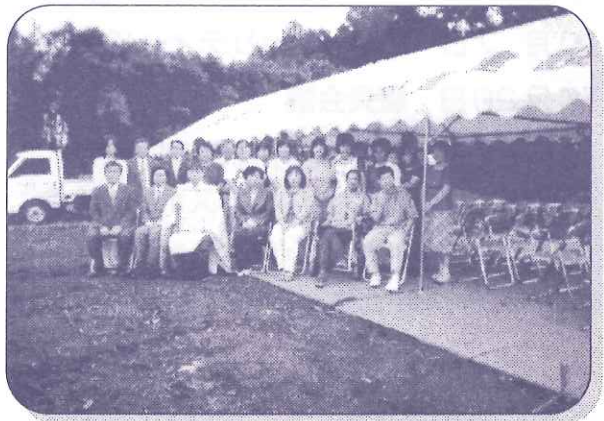
### 「セルフ・みらい」地鎮祭

九月二三日（木）大安の日、「セルフ・みらい」建設工事の無事を祈る地鎮祭が、とりおこなわれました。つい先日まで藪に覆われていた予定地がきれいに整地され、「ここに建つのだ」との実感を持ちました。式典には、みらいの会会員の皆さんをはじめ、設計会社（中央設計）、建築会社（剋真建設）、住谷常務理事、そして社会福祉法人こぶしの会の施設利用者代表として、直井信也けやき作業所自治会会長が出席されました。みらいの会を応援して下さっている大前神社の神主さんのお払いと祝詞に、これからの活動とそして完成してからの運営をしっかりとやらなければと、心引き締めたのでした。



緊張の一瞬。  
身も心も引き締まる時です。

この地域に根付いていく施設を皆でつくっていき  
たいという思いを込めて。



① トピックス

こぶし作業所

新車が入った!!

こぶし作業所の新しい仲間です。よろしくお願いたします。

日本小型自動車振興会の平成二三年度補助事業により、こぶし作業所に一五人乗りの新しい送迎車が入りました。環境を考えガソリンエンジンのワゴン車になりました。また、運転手の負担を軽減するためオートマチック車を採用しました。まもなく市内コースを走る予定です。



けやき作業所

斉藤安弘さん・秀子さんの結婚を祝う会

さる九月八日（土）にアプローズ益子にて斉藤安弘さんと小林秀子さんの結婚を祝う会が開催されました。

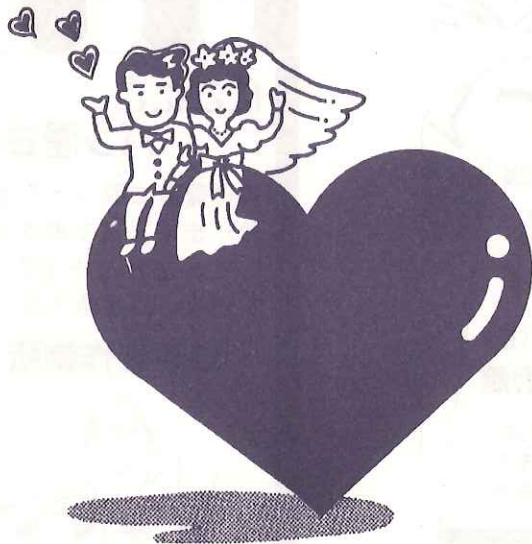
「こぶしの会」初の仲間の結婚、そして出産を迎えられたお二人の門出をお祝いしようと、職員と仲間とで有志を募り実行委員会を八月の中旬につくり、祝う会当日まで三週間余という短い期間で準備をすすめました。毎週火曜、木曜に定例会議を開き、仲間中心に祝う会の企画を検討してきました。

当日は良い天気で参加者は五〇名を越し二人の門出を祝しました。秀子さんのウエディングドレスを着ての入場から始まり、お祝いの歌、新郎新婦に対しての質問、最後にお二人から

「けやき作業所」へと作詞作曲された歌をいただき感動的な祝う会を行うことができました。祝う会が終わっても二人の幸せを願い会場写真を撮ったり話し合ったりと余韻を楽しんでいました。

斉藤安弘さん、秀子さんそして由伸君。いつもまでもお幸せに……。

矢板橋 敦



## 掲示板

※お問い合わせは  
こぶし作業所へ

### セルフ・みらい建設のための 募金にご協力ください

施設を建設するためには、多額の資金が必要になります。国や県から補助を受け、又、公的な融資制度を活用しても約1,700万円の寄付・募金なくては、施設を建設できません。

そのため、皆さまには、私たちの施設づくりの趣旨をご理解いただき、施設建設募金へのご協力を心よりお願いいたします。

### 募金要領

1口3,000円です（何口でも結構です）

募金をして下さる方は

●事務局または作業所にお持ち下さるか、下記までお電話いただければ幸いです。

事務局（佐護方） 0285（84）6181

けやき作業所 028（687）1040

●ご送金（郵便振込）の場合は、所定の振替用紙をご使用いただくか、下記へお願いいたします。

郵便振替 口座番号 00140-9-558846

みらいの会

### こぶし作業所・けやき作業所

後援会会員拡大にご協力をよろしくお願いたします。

共同作業所全国連絡会  
賛助会員募集  
連絡は栃木支部事務局  
けやき作業所へ

### こぶしチャリティバザー 10月7日(日)

品物提供のおねがいとボランティアを募集しています。  
(連絡をお待ちしています)



### ふふふせっけん 好評発売中!!

粉石鯰 1.2キロ入り 240円

固形石鯰 2個入り 100円



みらいの会支援

### ダンス パーティ

10月26日(金)  
市貝町町民会館

お問い合わせは  
けやき作業所まで  
みらいの会まで

### にこにこ パン屋さん

各種豊富に取りそろえて  
おります。注文票をFAX  
にてお送りしますので、  
お気軽にご連絡下さい。

### けやき作業所

